

床暖房リモコン 設置工事説明書

0CM021

系統数	品 名
1系統用	FHR-18A-N30、FHR-18A-N60、FHR-18A-NB FHR-18A-R30、FHR-18A-R60、FHR-18A-RB
2系統用	FHR-18A-N30K、FHR-18A-N60K、FHR-18A-NBK FHR-18A-R30K、FHR-18A-R60K、FHR-18A-RBK

表示について（表示の意味は次のようになっています）
この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



工事される方へのお願い

- 設置工事は、お買い上げの販売店に依頼して行ってください。
- 機器を正しく安全にご使用いただくために、この設置工事説明書をよくお読みになってから指定された工事を行ってください。
- 工事の際は本書の他に「電気設備に関する技術基準」「内線規定」「建築基準法」「消防法」および当該地域の条例および規定に従って正しく工事してください。
- 床暖房リモコン本体は分解しないでください。
- 本品を指定する熱源機に接続して使用してください。
- 工事終了後、保証書付取扱説明書を必ずお客さまにお渡しください。

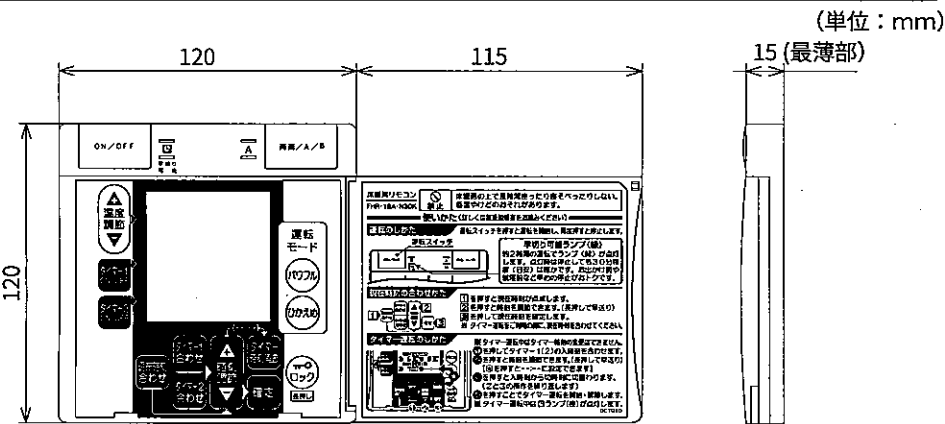
部品の確認

■梱包内には下記の部品が入っています。取り付け前にご確認ください。

部品名	形状	個数	部品名	形状	個数	部品名	形状	個数
床暖房リモコン本体		1	工事説明書（本書）		1	皿小ねじ M4×40		4
取付金具		1	取扱説明書		1	皿木ねじ φ3.8×20		2
梱包ケース（養生カバー）		1	部屋シール		1	※閉端接続子		3 (6)

リモコンのイラストは1系統用を示す。
※閉端接続子は2系統用は6個。

外形寸法図



イラストは2系統用を示す。1系統用も外形寸法は同じ。



工事前のご注意

- 下記の場所には取り付けないでください。
 1. 温度の高くなる場所
 2. 直射日光のあたるところ
 3. 湯気のかかる場所
 4. 水しぶきのかかる場所
 5. 油のかかる場所
 6. ベンジン・アンモニア・酸類などの特殊薬品を使用する場所
 7. 部屋が間仕切等で分割されている場所（2系統用の場合）
 8. リモコンのふたを開けた時に壁や間仕切り等に当たるところ
 9. 他の機器の熱の影響を受け室温センサーが正常に作動しない場所（FHR-18A-R30、R60、RB、R30K、R60K、RBK）
- リモコン（取付金具）は段差の無い壁面に取り付けてください。段差がある壁面に取り付けるとリモコン（取付金具）が変形して、不具合が発生するおそれがあります。
- ねじを締めつける際、強く締めすぎますとリモコンや固定金具が変形するおそれがあるため、電気ドライバーやインパクトドライバーは使用しないでください。



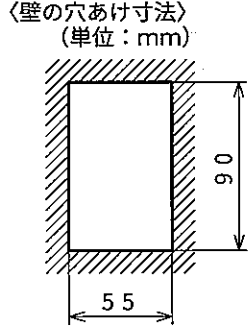
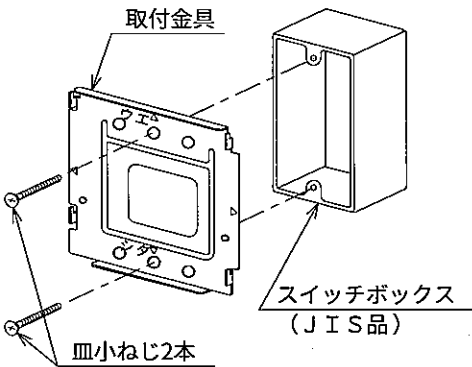
設置工事

■リモコンの取り付けが完了するまで、熱源機本体の電源は入れないでください。

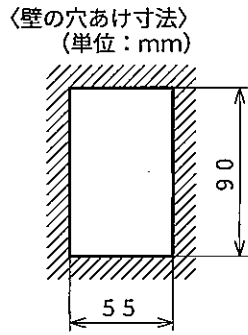
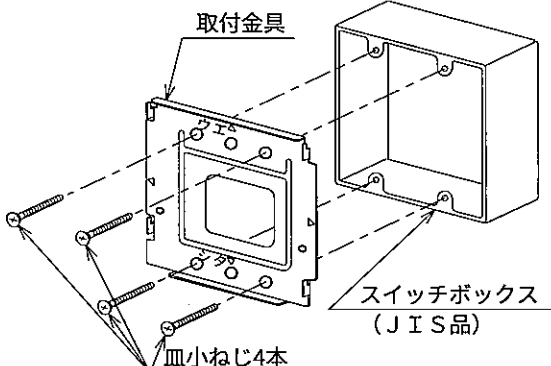
取付金具の固定のしかた

- ・締めつけすぎると取付金具が変形するおそれがありますので注意してください。
- ・取り付け後は取付金具と壁にすき間がないことを確認してください。
- ・ねじの締めつけは手締め（ドライバー）で行い、取付金具ががたつかない程度に締めつけてください。

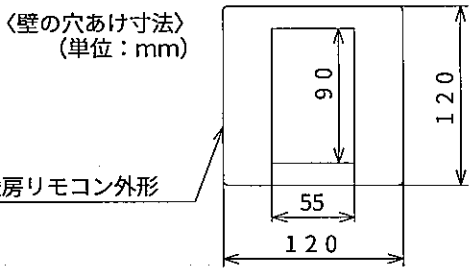
■スイッチボックスに取り付ける場合
＜1個用スイッチボックスの場合＞



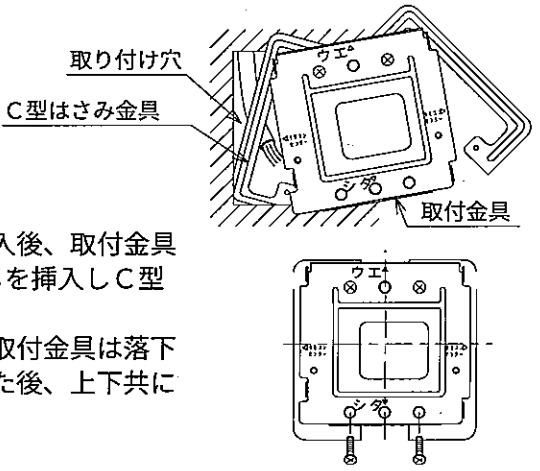
＜2個用スイッチボックスの場合＞



■C型はさみ金具を用いた場合
適用壁厚・・・・・・24mm以下
取り付けピッチ・・・・83.5mm
※2個使用

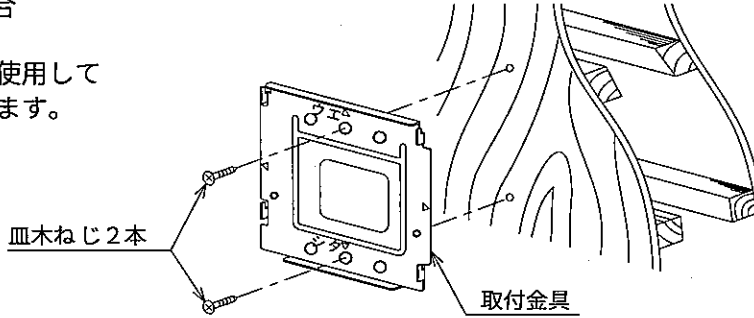


1. 取付金具とC型はさみ金具の上部に付属の皿小ねじを通して（左右両方共）順次はさみ金具を取り付け穴に挿入します。
2. C型はさみ金具を取り付け穴に挿入後、取付金具下部穴（2か所）に付属の皿小ねじを挿入しC型はさみ金具を固定します。（挿入した付属の皿小ねじにより取付金具は落下しませんので左右の位置を決めた後、上下共に締めつけてください）



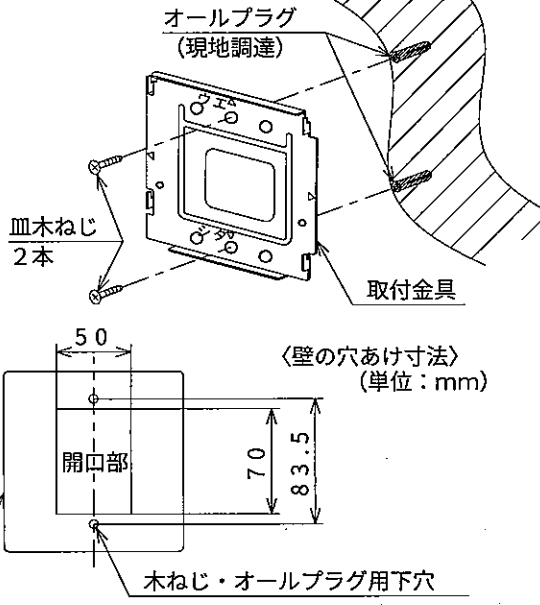
■壁面に取り付ける場合
＜木質壁面の場合＞

付属の皿木ねじを使用して取付金具を固定します。



＜コンクリート壁面の場合＞

オールプラグ（現地調達）を使用して取付金具を固定します。オールプラグ指定の下穴をあけ、オールプラグを打ち込み、次に付属の皿木ねじを使用して固定します。
※オールプラグ（現地調達）は床暖房リモコン付属の皿木ねじ（φ3.8×長さ20mm）に適合するもの（MILT-8等）を使用してください。
※MILT-8用の下穴（φ6×深さ30mm）



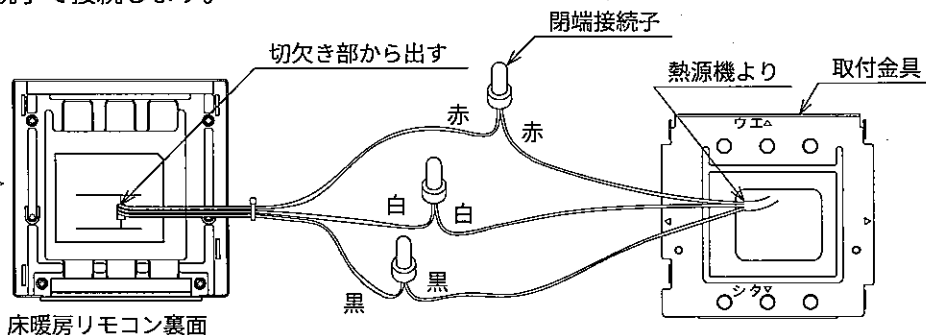
※木ねじやオールプラグ用の下穴は必ず垂直にあけてください。
リモコンでは傾きの修正はできません。

床暖房リモコンの結線のしかた

■1系統用の場合

(FHR-18A-N30、FHR-18A-N60、FHR-18A-NB
FHR-18A-R30、FHR-18A-R60、FHR-18A-RB)

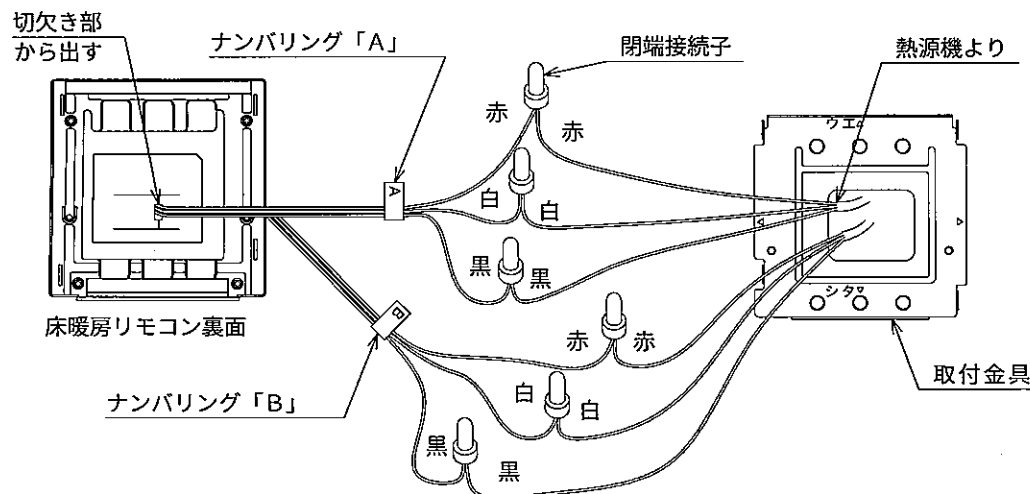
- 結線は本体背面より出たリード線を、熱源機から出ている接続線に付属の閉端接続子で接続します。



■2系統用の場合

(FHR-18A-N30K、FHR-18A-N60K、FHR-18A-NBK
FHR-18A-R30K、FHR-18A-R60K、FHR-18A-RBK)

- A、B 2系統についてそれぞれ3本ずつ接続します。結線は本体背面より出た2組のリード線(赤、白、黒で1組とし、ナンバリングでA、Bの2組に分かれています)を、熱源機から出ている2組(6本)の接続線それぞれに、付属の閉端接続子で接続します。(リード線は必ず2組共に接続してください)



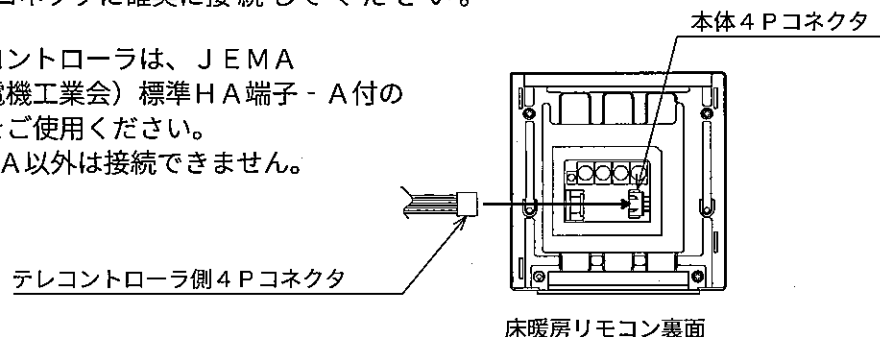
※A、B 2系統は、同一熱源機に接続してください。

テレコンの結線のしかた

■テレコントローラ(市販品)と併用してご使用の場合

取り付け穴より出ているテレコントローラシステムからの4Pコネクタを本体4Pコネクタに確実に接続してください。

- 注) テレコントローラは、JEMA(日本電機工業会)標準HA端子-A付のものをご使用ください。JEMA以外は接続できません。



床暖房リモコンの取り付けかた

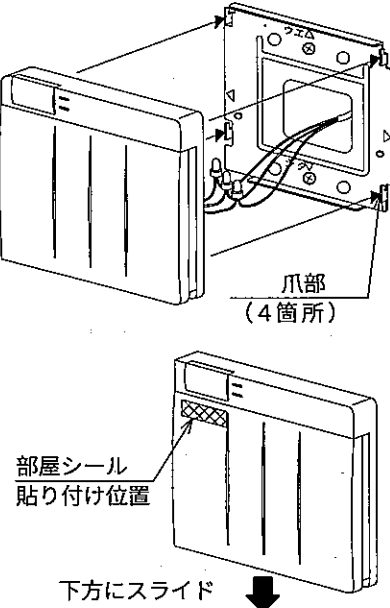
1. リード線を傷つけないよう注意します。リモコン背面の4箇所の切欠き部を、取付金具の爪部に合わせながらはめ込みます。

注) 壁開口時の加工くずが本体にはいらないよう注意してください。

2. 次にリモコンの四隅を取付金具に押しつけながら、下方にスライドさせてリモコンを取り付けます。

3. 必要に応じて付属の部屋シールを貼り付けてください。また、使用しなかった部屋シールは、必ずお客さまにお渡しください。

注) リモコンを固定した後、浮き、がたつき、はずれなどが無いことを確認してください。



イラストは1系統用を示す

自動試運転の方法

- 本床暖房リモコンは、自動試運転機能付の熱源機に接続すると、水張り作業や試運転を自動的に行うことができます。

- その自動試運転時には、ジャック端子に必ず床温センサー(現場調達)を差し込んでから機器の試運転スイッチを入れてください。

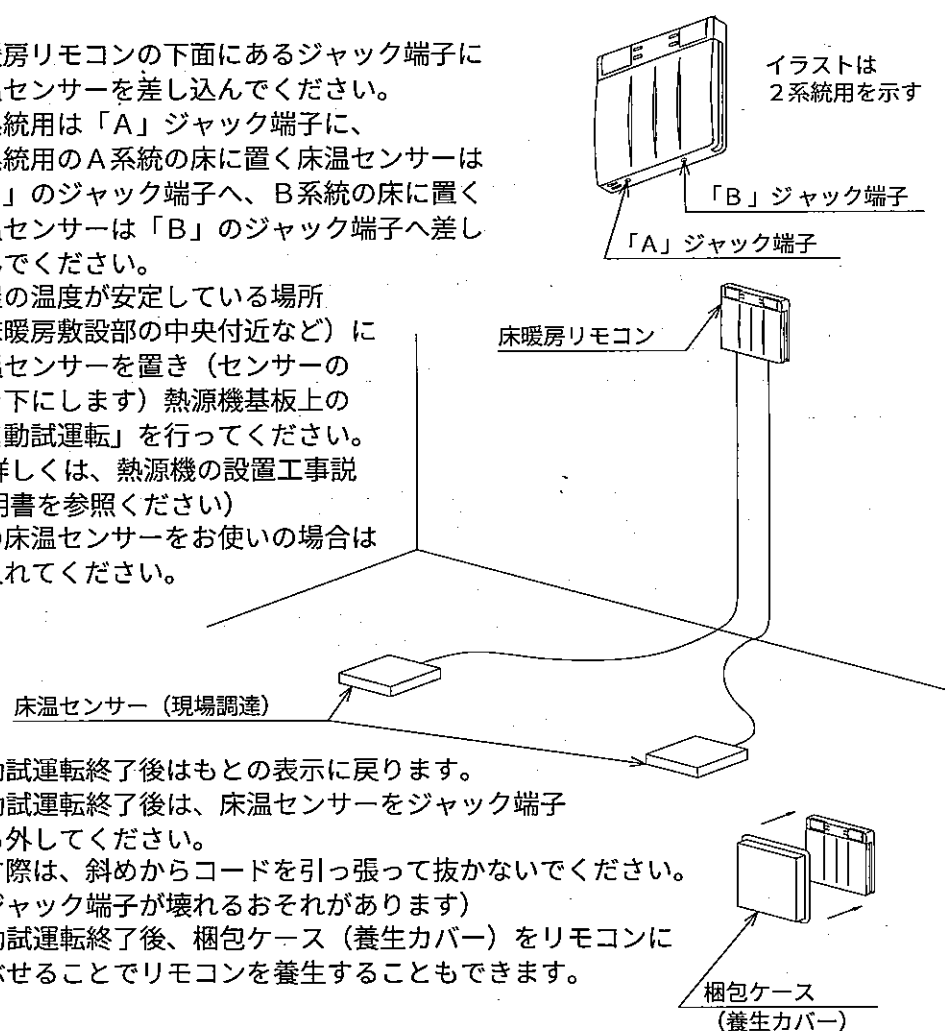
- 床温センサーの設置は、室内温度と著しく異なる場所を避けてください。(直射日光のあたる場所、外気が床温センサーに直接あたる場所、部屋の隅など)

1. 床暖房リモコンの下面にあるジャック端子に床温センサーを差し込んでください。

1系統用は「A」ジャック端子に、2系統用のA系統の床に置く床温センサーは「A」のジャック端子へ、B系統の床に置く床温センサーは「B」のジャック端子へ差し込んでください。

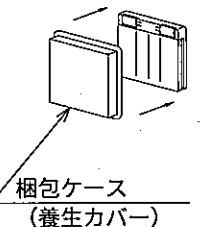
2. 部屋の温度が安定している場所(床暖房敷設部の中央付近など)に床温センサーを置き(センサーの面を下にします)熱源機基板上の「自動試運転」を行ってください。(詳しくは、熱源機の設置工事説明書を参照ください)

※旧型の床温センサーをお使いの場合は水を入れてください。



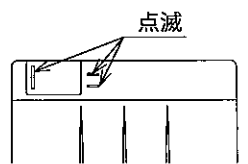
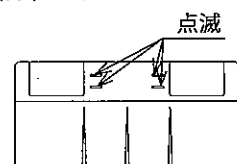
イラストは2系統用を示す

3. 自動試運転終了後はもとの表示に戻ります。
 4. 自動試運転終了後は、床温センサーをジャック端子から外してください。
- ※外す際は、斜めからコードを引っ張って抜かないでください。(ジャック端子が壊れるおそれがあります)
5. 自動試運転終了後、梱包ケース(養生カバー)をリモコンにかぶせることでリモコンを養生することもできます。



■自動試運転中の液晶表示

自動試運転中はすべてのランプが点滅します。



FHR-18A-***Kシリーズ (2系統)		FHR-18A-***シリーズ (1系統)	
試運転待機中		試運転待機中	
A系統水張り中		水張り中	
A系統判定中		判定中	
A系統判定OK		判定OK	
B系統水張り中		(例) NG判定	
B系統判定中		エラー番号点滅	
B系統判定OK			

※2系統の場合、自動試運転中に一方の系統でエラーが発生してももう一方の系統の試運転は行います。

エラー表示一覧

エラー番号	エラー内容
314	室温異常
324	床温異常
034	誤配管判定
970	試運転50分経過

※上記以外のエラー番号は、熱源機のエラーを表示しています。

お客さまへの説明

- 工事終了後、保証書付取扱説明書に従って使用方法を説明してください。特に「安全上のご注意」「使用方法」についてよく説明してください。

- 保証書付取扱説明書に必要事項を記入の上、お客さまに渡して、保証書付取扱説明書に従って「アフターサービス」について説明してください。